

政策資料

■No.63 介護保険制度を軸とした地域福祉の確立にむけて

■No.64 地域の自治とコミュニティ政策を考える

大阪地方自治研究センター
電話06(6242)2220

自治労大阪

1966年4月7日 第三種郵便物認可 発行所・自治労大阪府本部
大阪府北区天神橋3-9-27 P L P 会館1階 (TEL06-6242-2233)
発行人・中野勝利 編集人・國眼恵三 毎月1、11、21日発行 (FAX06-6242-2230)
1部10円6カ月180円(組合員の購読料は組合費に含まれています)

4/11・21
APR. 2024
第2016号



公務職場の現状を訴える岸まきこ参議院議員

自治労組織内の岸まきこ参議院議員は4月11日、「公務職場におけるカスハラ」をテーマに、参議院総務委員会でご講演されました。

総務大臣 地方自治体におけるハラスメント対策は重要なテーマ

公務職場におけるカスハラ対策を

「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。

岸まきこ参議院議員は、「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。

岸まきこ参議院議員は、「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。

金融の知識は専門性が高いとのイメージから、頻発しているSNSを悪用した「フィッシング詐欺」や、仮想通貨への嘘だまが、近年の投資をもちかけた「投資詐欺」などの金融トラブルから身を守るために、金融に関する知識を高め、理解を深めていくことが重要である。また、「人生100年時代」といわれ、個人が多様な生き方を認められつつある現在、各単組の共済担当者には、組合員の実情に合わせた適切なライフプラン検討への支援と老後、年金、家計、保険など各種相談への対応が求められている。



講座には多くの受講希望があり、関心の高さがうかがえた

共済加入促進&単組元気回復事業

共済担当者のスキルアップと若年層の加入にむけて

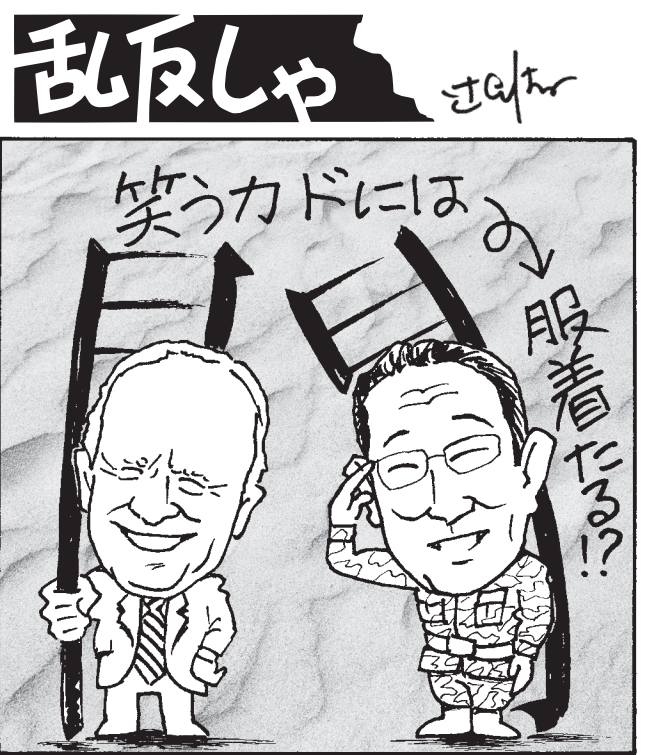
F P 3 級資格取得講座を開催

府本部と自治労共済大阪府支部は、3月16日(土)と3月23日(土)の2日間、ファイナンシャルプランナー(F P) 3級技能士の資格取得にむけた連続講座を行った。各単組の共済担当者を中心に12単組54人が受講した。今回の連続講座は、「共済加入促進&単組元気回復事業」の一環として、じちろう共済の認知度アップによる加入促進と共済担当者のスキルアップや若年層の加入にむけた取り組みを目的として実施された。

「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。

岸まきこ参議院議員は、「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。

岸まきこ参議院議員は、「カスハラ」は、労働者に対する不当な言動や行為を指し、近年、労働者からの訴えが増えています。岸まきこ参議院議員は、この問題について、参議院総務委員会でご講演されました。



参議院議員 (自治労組織内議員) **岸まきこ** 立憲民主党

とともに **自治労の政策要求を実現しよう!**

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

岸まきこ(岸真紀子)プロフィール
1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ、94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参議院選(全国比例区)で初当選。現職に至る。

岸まきこ公式サイト kishimaki.com

4月に入り、職場では心機一転、新規採掘者が来る季節。新たに採用された方も受け入れる職員も不安感でいっぱい。私の入職時には、「安定している」「ぶれることはない」という人々が多く、行政職は「こんな自治体には」と希望している方がおられました。私は周りの先輩も加入していたことから採用と同時に自治労に加入。組合の集まりに「動員」というお誘いで参加して気づくこともあった。それは民間で働いている時との給与の格差、差別的な取り扱い。そして組合活動を通じて改善できたこと。背景には、多くの組合員が結集できていたからである。組合活動を今も続けているのは、出会った他部署や他都市の自治労の仲間とのつながり。仕事だけでは視野が広がらないと感じる今日この頃。(はつこ)

重要なテーマである」として、「措置状況のフォローアップに加え、地方自治体のハラスメント対策に関する事例調査を行い情報提供してまいります」と回答した。あわせて能登半島地震の被災自治体職員へのメンタルヘルスについても「職員の健康確保がはかられ適切に行政サービスが提供できるように努めて参りたい」と述べた。

自治労が2020年に実施した調査では、過去3年間に住民からの迷惑行為や悪質クレーム(カスハラ)を受けた人は約半数の46%、職場で受けている人がいるところを見たというケースを含めると76%と、約4分の3の人がカスハラが発生していることを実感している。

岸まきこ参議院議員は、「災害や感染症などの対応時には、住民の多くが不安や不満を抱えていることからカスハラが起きやすく、歯止めも難しい現状にある。引き続き、日ごろからカスハラ事例を明らかにし、周知するなど各自治体での対策が重要という問題提起を行いたい」としている。

府本部は今後引き続き、若年層を対象とした取り組みや組合員を対象としたファミリーイベントなども実施するとしている。

方法についても講師から語られた。受講者からは「仕事に関連する部分が多く、行政職員としてのスキルアップにもつながるとしたファミリーイベントなどにも実施するとしている。」

どの声があった。府本部は今後引き続き、若年層を対象とした取り組みや組合員を対象としたファミリーイベントなども実施するとしている。

能登半島地震ボランティア支援活動

息の長い支援の必要性を実感

自治労のスケールメリットをいかして

自治労大阪府本部 執行委員 中田 英之

3月23日から31日にかけて、自治労が石川県七尾市の要請にもとづき3月4日から展開している能登半島地震・自治労ボランティア支援活動の第4クールに大阪府本部からの派遣者として豊中市従の中塚さんとともに参加した。その概要について報告する。

石川県七尾市での活動 毎朝、宿舎のある富山県水見市から七尾市・高田ふれあい公園付近の消防栓に行き、マンホール下の給水口にパイプを取り付け、ボランティアグループや県外からの行政支援の給水車が来ると路の上の安全に注意しつつ、給水を行う。夕方まで作業をし、給水車の列がながった。

雨予報の前日、マンホール前の住人に、雨が降れば玄関の軒先で待機をさせて頂けないか相談したところ、ガレージの使用を快諾頂き、温かい飲み物の差し入れも頂いた。基本的には待機だが、毎日通る車や通行されている住民にあいさつや声掛けをしていたので、当初固い表情だった方々も、後半には困っていることなどを打ち明けてもらえる関係が作れたと感じた。

ボランティア支援活動に参加した中田さん(左)と豊中市従の中塚さん(右)



ボランティア支援活動に参加した中田さん(左)と豊中市従の中塚さん(右)

マンホールの蓋を開けることも給水作業も初めての体験だったが、前々方からの写真付きの引き継ぎ書のおかげでスムーズに行うことができた。しかし次クールへの引き継ぎ時に写真だけでは伝わりにくい部分もあると感じたため、作業を動画で撮影し引き継ぎに備えた。路上での待機は、天候が悪ければ寒さで体が冷え、中々の厳しさがあったが、支援者同士の声掛け合い、励まし



地震で破壊された家屋

し合えたのが救いだった。これら取り組みは発災直後の特殊な技術をもつ行政の支援から、民間ボランティアに引き継ぐ過程において重要であると感じた。

七尾市のホームページによると市内全域で通水は完了し、給水車も任務を終え台数は減りつつある状況だが、水質検査を待つ地区もある。また、宅内の配管が損傷している場合は修理が必要だが、水道工事業者の人数も足りていないようである。付近の住居では、業者が庭の大きな石を重機でどけ、植木を切り更地にしていった。地面を掘ると下水管が損傷している状況を目の当たりにする。

「被災者の支援・救済を担っている自治体職員・組合員の業務を支援すること」を目的としている。自治労本部は発災後、

「被災者の支援・救済を担っている自治体職員・組合員の業務を支援すること」を目的としている。自治労本部は発災後、

イラストの力を体感

大阪市立自然史博物館特別展「自然史のイラストレーション」

昨年、NHKで植物学者の牧野富太郎がモデルとなったドラマが放映された。そのドラマの随所で登場していたのが植物画だ。美しく正確に描かれたそれらの絵に目を張った人も多かったろう。そんな植物画をはじめ、

「被災者の支援・救済を担っている自治体職員・組合員の業務を支援すること」を目的としている。自治労本部は発災後、

まぎ.com

ラン活



える・楽しむイラストレーション」では、自然の楽しさを伝える絵本の原画や、自然観察会で活躍した図解などを紹介。観客は自然史の普及にイラストが欠かせないと実感することになる。

本物以上に本物らしいイラストから、緻密さに驚くしかないイラストまで、その魅力を満喫する展覧会となった。

▼会期/5月26日(日)
▼会場/大阪市立自然史博物館エネチャイホール(大阪メトロ御堂筋線「長居」駅下車3号出口より東へ約800m、長居公園内) ▼開館時間/9時半~17時(入館は16時半まで) ▼休館日/月曜日、ただし4月29日、5月6日は開館し、5月7日休館 ▼観覧料/一般500円、高・大学生300円、中学生以下・障がい者手帳をお持ちの方(介護者1人を含む)・大阪府在住の65歳以上の方(要証明)は無料 * 常設展とのセット券あり ▼問い合わせ/06(66997)6221

ご入職おめでとうございます! / 私たちは **じちら共済** をオススメします!!

まずは組合にご連絡ください

ごくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会 推進本部 自治労共済 大阪府支部 全日本自治体労働者共済生活協同組合

「ごくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。